

## 令和7年度 大船高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	教育公務員としての自覚を高め、信用失墜行為を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の打合せや職員会議で具体的な事例を示し、職員の意識を高めた。</li> <li>・2月に啓発点検資料を活用した事故防止研修を実施し、職員の服務規律遵守の再確認を行った。(生徒支援G担当)</li> </ul>
職場のハラスメントの防止	セクハラ、パワハラをはじめとする職場のハラスメントに対する理解を深め、未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月に啓発点検資料による自己点検を含む研修を行い、職場のハラスメント防止に対する職員の意識向上を図った。(進路支援G担当)</li> <li>・職員の言動に気になる点があれば、互いに注意喚起をし、未然防止に努めた。</li> </ul>
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラ行為の未然防止について当事者意識を持って取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月に生徒の人権尊重の視点を確認し、倫理観を高め、わいせつ事案等の防止を図る研修を実施した。(生活支援G担当)</li> <li>・昨年改正された刑法と新たな性犯罪防止関連法の周知とともに、職員同士で意識を高めあう環境づくりに努めた。</li> </ul>
体罰・不適切な指導の防止	教育者としての自覚を持ち、生徒の人権を尊重し、体罰・不適切な発言指導を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月に啓発資料を活用した研修を実施し、生徒の人権に配慮した指導に配慮する意識を喚起した。(生活支援G担当)</li> </ul>
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜に係るデータ管理及び成績処理や調査書作成等での事故を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6、12月に職場研修を行い、個人情報管理の重要性を再認識した。</li> <li>・入学者選抜にあたって、業務開始毎に事故防止の啓発を行った。また、ダブルチェック体制を整えた。(学習支援G、管理情報G担当)</li> </ul>
個人情報等の管理・情報セキュリティ対策	情報の管理方法を確認し、個人情報の流失を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4、9月に啓発資料を活用して点検を実施し、個人情報保護に関する職員の意識向上を図った。(学習支援G、管理情報G担当)</li> </ul>

交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規・交通マナー遵守を徹底し、交通事故。違反、酒酔い・酒気帯び運転を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員同士、管理職からの声掛けにより、事故の未然防止に努めた。</li> <li>・11月に啓発資料を活用して、交通法規の徹底と交通マナーの意識向上を図った。（生徒支援G担当）</li> </ul>
財務事務等の適正執行	財務事務をルールに従って厳正に行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公費については会計事務手引に則り、執行手順を相互に確認するとともに、複数の目でチェックする体制を確保した。（事務室）</li> <li>・私費については私費会計事務処理の手引に従い、教員向けに私費会計ハンドブックを作成して適正な執行に努めるとともに、10月に資料を用いた研修を実施した。（地域交流G担当）</li> </ul>

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

不祥事防止について、個人の責任に帰する部分は、行政課主導で事例の共有、原因の究明、ケーススタディ等を通じ、積極的な取り組みが進んでいる。所属として不祥事を生み出しにくい組織風土を醸成していくため、職場における信頼を高めること、意見交換が活発で公正・公平な運営がなされ、職員の適正な意見が反映される学校づくりを続けていきたい。